

## 2. 養殖漁業振興事業費

### 1) 養殖衛生管理体制整備事業

太田豊三・二宮浩司・山本充孝

#### 【背景と目的】

近年、食品の安全性に対する消費者の要求が高まっており、特に養殖水産物に関しては、養殖現場で使用されている医薬品の使用状況や養魚用飼料の給飼状況、養殖漁場環境等について、関心が寄せられている。

養殖生産物の安全性の確保の観点から、県が主体となって養殖現場の巡回指導、魚病発生の実態把握、防疫と水産用医薬品の適正使用の指導等を行っている。

#### 【成果の概要】

1. 全国養殖衛生管理推進会議（6月20日、11月7日、3月18日）
2. 滋賀県魚類防疫対策会議（7月14日、8月20日、3月23日）
3. 医薬品適正使用説明会（6月27日）
4. 水産動物防疫講習会（11月5日）
5. 県アユ冷水病総合対策研究推進会議（10月16日～17日、3月25日～26日）
6. 魚病指導総合センターにおける魚病診断状況（表1）

アユの診断件数73件中、混合感染を含めて冷水病が59.2%、シュードモナス病が23.7%であった。コイで、特定疾病「コイヘルペスウイルス病」が発生した。

7. 医薬品残留総合点検

簡易検査法により、アユ：20検体とニジマス12検体を検査した結果、いずれも残留抗菌物質を検出されなかった。

#### 【成果の活用】

食品としての安全な養殖魚の生産を確保するとともに、養殖業の健全な発展と経営の安定を図る。

表1. 滋賀県魚病指導総合センターにおける平成15年度魚病診断状況(診断件数)

項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	割合 (%)	混合感染 含む割合(%)				
ア	ビブリオ病												1	1.3	59.2					
	冷水病	5	2	4	1	2		1		4	2	9	6	36		47.4				
	細菌性鰓病												1	1.3						
	シュードモナス病		2	1	2	1	1	1					2	3		2	15	19.7		
	シュードモナス病+冷水病												1				2	3	3.9	
	冷水病+ギロダクチルス症		1														2	3	3.9	
	冷水病+水カビ病	1												1			1		3	3.9
	ユ	水カビ病												1				1	1.3	
	急性スレ症		1														1		2	2.6
	チョウチン病			1														1	1.3	
不明	2	2	3	1													2	10	13.2	
小 計		8	8	10	4	5	3	2	0	5	5	14	12	76	100.0					
コイ	カラムナリス病												1	9.1						
	トリコディナ症+カラムナリス症												1	9.1						
	エピスティリス症												1	9.1						
	フナ	カラムナリス病+水カビ病	1													1	9.1			
	コイヘルペスウイルス症	(特定疾病につき、別頁に詳細な経過を記載)																		
	類	鰓テロハネルス症												1		9.1				
不明				2	1	2	1												6	54.5
小 計		1	0	2	2	2	2	1	0	0	0	0	1	11	100.0					
マ	ウイルス性疾病												1	2	16.7					
	冷水病													1	8.3					
	冷水病+水カビ病	1													1		8.3			
	せっそう病													0	0.0					
	ス	せっそう病+冷水病													1		8.3			
	その他細菌性疾病													0	0.0					
	連鎖球菌症												1	8.3						
	白点虫症													1	8.3					
	水カビ病	2													2		16.7			
	不明			1	1	1												3	25.0	
小 計		3	0	0	1	3	1	0	1	0	1	1	1	12	100.0					
合 計		12	8	12	7	10	6	3	1	5	6	15	14	99						